



# メンバー表

## ジャパンラグビートップチャレンジリーグ2018 1stステージ 第2週

2018/09/16  
14:00 Kick Off  
あきぎんスタ

釜石シーウェイブスR.F.C. (Host)			マツダブルーズーマーズ (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
平栗大士 (関東協会)
アシスタントレフリー
山本哲士 (関東協会)
藤原守 (関東協会)
櫻田泰憲 (関東協会)

釜石シーウェイブスR.F.C.						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	田邊 篤		34	173/108	帝京大学
2	HO	マット・マフィ	E	27	178/120	セントジョセフナッジーカレッジ
3	PR	ホラニ 龍シオアペラトウ		35	187/120	埼玉工業大学
4	LO	コーリー・トーマス	E	23	194/108	ギルフォードグラマー高校
5	LO	ステファン・ルイス	F	26	200/111	エルドレイン高校
6	FL	佐々木 拓磨		32	172/91	山形大学
7	FL	ケイン・コテカ	E	24	182/100	アランモア カトリックカレッジ
8	No.8	中野 裕太		28	180/104	早稲田大学
9	SH	森 雄祐		29	165/75	摂南大学
10	SO	中村 良真		23	172/73	帝京大学
11	WTB	小野 航大		26	170/82	東海大学
12	CTB	ニック・ユースト	E	21	190/96	ヘイル高校
13	CTB	村田 オスカロイド		24	173/81	東海大学
14	WTB	菅原 祐輝		23	169/73	仙台育英学園高校
15	FB	村井 佑太郎		26	176/79	明治大学
16		吉田 竜二		30	175/103	拓殖大学
17		高橋 拓也		26	172/105	黒沢尻工業高校
18		ナウランギ シリベヌシ 信玄		32	186/120	大東文化大学
19	Re.	ダラス・タタナ	E	27	186/103	東海大学
20		上田 宥人		24	183/98	明治大学
21		南 篤志		25	174/78	慶応義塾大学
22		星野 将利		32	175/87	明治大学
23		木村 優太		26	180/94	山梨学院大学

マツダブルーズーマーズ						
#	Pos.	氏名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	小ヤナギ(木に外) 友徳		26	177/118	報徳学園高校 → 東海大学
2	HO	北林 佑介		23	172/103	東海大学付属仰星高校 → 帝京大学
3	PR	高見 優太		26	175/110	神戸科学技術高校 → 大阪体育大学
4	LO	南 宗成	A	26	188/105	大阪朝鮮高級学校 → 明治大学
5	LO	フィル・ポットギター	E	23	194/112	クインズランド大学
6	FL	芦田 朋輝		23	183/106	名南工業高校 → 愛知工業大学
7	FL	柏田 裕紀		27	181/98	延岡工業高校
8	No.8	テビタ・コロアマタ ンギ	F	30	189/105	ネイランド大学
9	SH	後藤 大		25	167/73	東福岡高校 → 立命館大学
10	SO	齊藤 遼太郎		25	174/85	東海大仰星高校 → 天理大学
11	WTB	李 修平	A	29	180/90	日新高校 → 大阪体育大学
12	CTB	サム・クリスティ	E	31	181/95	ハミルトンボーイズ高校
13	CTB	ジョー・カマナ	E	26	194/96	フェイザー高校
14	WTB	三好 啓太		33	174/78	松山商業高校 → 帝京大学
15	FB	崎口 銀二郎		23	178/82	大阪桐蔭高校 → 同志社大学
16		永田 亮		23	169/90	同志社大学 → 同社社大学
17		ナカンダカリ 雄一		24	176/115	読谷高校 → 朝日大学
18		大木 丈典		31	179/118	國學院栃木高校 → 帝京大学
19	Re.	米本 侑人		29	182/98	大阪桐蔭高校 → 近畿大学
20		稲垣 大海		24	173/82	天理高校 → 近畿大学
21		中島 陸斗		22	164/78	東福岡高校 → 専修大学
22		北島 遥生		23	174/77	常翔学園高校 → 法政大学
23		金丸 勇人		24	172/70	天理高校 → 天理大学

\* 背番号の白抜きはキャプテン \* 資格は F:外国籍, A:アジア, E:特別 \* メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認ください。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』